

「ヘッドネーション」をめぐる
少女2人の物語
31センチの約束
4月10日(水) 10時40分
福岡県福岡市天神区

2023年

9月20日
(水曜日)

売春、薬…「キッズ」夜ごと漂流



中学1年から売春を続けているという少女2人。ポーチに過剰摂取(オーバードーズ)用の薬とリストカット用のかみそりを入れて携帯していた。8月10日午後10時40分、福岡市・天神の誓園公園

誓園公園 私の居場所

夜が深まると福岡市・天神中心部の誓園公園に黒っぽい装いの若者が集まっていく。大半が10代の少女だ。進路や恋愛の悩みを打ち明け合ふ子もいれば、たばこや酒を片手に談笑し売春の交渉をする子まで。「丘下」と呼ばれる一角でリストカットを繰り返す女性もいる。数年前から交流サイト(SNS)で「誓園界隈」という呼び名が定着したこの場所になぜ、子どもたちは引き寄せられるのか。本紙記者も公園に通った。

(長松院ゆりか)

8月中旬の午後10時半。広場の地べたに座り込む少女がいた。「誓園キッズ」を自称するミナ(15)と仮名(16)と。スマートフォンをいじりながらミナが「1・5でいい？」と隣を見る。リカは「いいよ。最近、相場が下がったね」と応じた。何の話をしているか尋ねた。



真偽は分からないが、SNSで「案件」の客を奪っていると言えた。案件とは売春の隠語で、1

りと過剰摂取(オーバードーズ)用の風邪薬。「この前、推しが他の女と話したと見て病んだ時に、一緒に(自傷行為を)やったよね」とミナが言った。リカは「そうそう」と笑った。東京・歌舞伎町の「トー横」や大阪・道頓堀の「グリト」と並び、誓園界隈がSNSで話題に上るようになったのは2020年ごろ。当初は、黒い服や濃

18歳「ここで生かされとる」

ファッションを好む若者が集う場だった。ただ、ここ数年は「低年齢化が目立ち、精神的に不安定な少女少女が増えている」と、若者の声に耳を傾けて支援する筑紫女学園大の大西良准教授(社会学部)は危惧する。SNSの影響が、家庭や学校に居場所がない子どもたちが、似た境遇の仲間とのつながりを求めて市内外からやって来るようになったという。

地内で男性会社員の顔面を殴り、現金を奪った強盗致傷容疑で10代の少女少女4人が逮捕された。4人は公園で知り合い、金銭目的で犯行に及んだという。誓は「公園が犯罪に關与しなくなりかねない」として巡回や補導を強化している。補導した数は21年の約290人から、22年は約510人に増えた。公園に足を運ぶうち、少年からこんな言葉をかけられた。どうせ(記者が)関心を持つのは一瞬でしょ。居場所を求めて誓園界隈に集まるのは、本来は社会的養護のセーフティーネットに守られるべき子どもたちが多いという。彼の声には、怒りや寂しさが滲み出ているように感じた。「今は〇〇米とあんな」「××は誓園キッズを卒業したよ」。そんな会話を耳にした。誓園界隈は一つの「コミュニティ」なのだ。大西准教授は「彼らに必要なのは見捨てられない体験。ようやく見つけた居場所を奪うのではなく、ここから着実に支援につなげるのが重要」と話す。